

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第2回川島町地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和6年3月14日（木）午前10時から11時15分	
開 催 場 所	川島町役場 2階 中会議室	
議 題	(1) かわみんタクシー乗り合わせ推進状況について (2) ボランティア送迎アンケート結果報告について (3) 高校生アンケート結果報告について (4) 高校生支援策について (5) 令和5年度、令和6年度の公共交通施策について (6) その他	
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	飯島委員、谷舘委員、中山委員、村上委員、新井委員、亘委員（代理：菊谷様）石島委員、友野委員、岩下委員、久保田委員、谷島委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、江間主幹、木村主査、笛木主事
配布資料	会議次第、資料1～6-2	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会</p> <p>2 新規委員紹介（資料1）</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議 事</p> <p>（事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。谷舘委員、中山委員にお願いする。</p> <p>（1）かわみんタクシー乗り合わせ推進状況について（事務局にて資料2-1、2-2を用いて説明。）</p> <p>（2）ボランティア送迎アンケート結果報告について（事務局にて資料3を用いて説明。）</p>		

委員：非営利とのことだが詳細を教えてください。

事務局：運行にかかる実費ということで燃料費相当分を集金していると聞いている。車両の保険や、車検にかかる費用等は町の車両を使用していることから、かかっていない。

委員：登録者のうち、3年生の卒業等で利用しない人が出た場合、追加等を行っているのか。また、広く周知はしていないようだが、現在の利用者の知り合い等でないと登録できないのか。

事務局：団体にて調整を行っているが、必ずしも知り合いでないと登録できないということはない。ただ、乗車可能人数が限られており、広く周知できない現状である。

委員：今後、かわみんタクシーの運行時間である帰りの時間帯に、高校生専用で駅に接続する乗り合わせ便を運行するなど検討しても良いのではないか。

委員：利用者の内訳を見ると、2年生が多いようである。平準化できるように指導することも必要でないか。

事務局：本制度は元々、空白地域である出丸地区の生徒を送迎することを目的に始まった。ボランティアの運転手が集まればもっと運行したいという気持ちはあると思うが、高坂・坂戸方面に行く学生がいなくなってしまうと運行本数が減る可能性もある。

(3) 高校生アンケート結果報告について（事務局にて資料4を用いて説明。）

会長：Q8-4を見ると最寄りバス停まで徒歩圏内の高校生が多いのだなと思ったが、回答者が週1日以上バスを利用する人のみの回答であった。むしろ利用しない人がどのあたりに住んでいるのかというのをアンケートで取れると良かったのでは。

委員：かわみんタクシーの相乗りでバスに乗ってくれる人がどれだけいるのかというのを把握できると良い。

事務局：アンケート内容について検討する。

委員：Q5の結果を見ると高坂駅・坂戸駅を利用する人が34人、回答率を踏まえると約60人いると考えると、その約半数をボランティア輸送によって輸送されていることになる。このことから、かわみんタクシーによる高校生の送迎策も来年度、議論を進めても良いのではないか。

委員：Q14で『学生いちねん定期券』の認知度を聞いているが、6割の高校生が知らないと回答しているのは課題に捉えるべき。バス会社や中学校と連携し、徹底して周知することの必要性が認識できたと思う。

事務局：今年度については、現在の中学校3年生に対してチラシを配布、1年生・2年生についても電子データで周知した。また、高校生についても本アンケート時に、アンケート項目の下にリンクを貼って周知したところである。引き続き来年度以降もチラシ配布や、お知らせする機会を設けて周知を図りたい。

(4) 高校生支援策について（事務局にて資料5を用いて説明。）

委員：配布した人のうち、何人が交換したのかはわからないのか。

事務局：業者から人数は公開できないと聞いている。

委員：使用しなかった人がいる場合、その分の金額が宙に浮いてしまう状況である。知らないという層に対して、有効期限内に交換してもらえるよう、リマインドしていく必要があるだろう。

事務局：支援策として、電子マネーの配布事業は一番安価に実施できる方法であり、好評をいただいている。町の他のギフト配布事業でも96%程度の消化率であることから、多くの方に利用していただいているのではと推察している。

(5) 令和5年度、令和6年度の公共交通施策について（事務局にて資料6-1、6-2を用いて説明。）

事務局：かわみんタクシーの料金改定から約2年経ったが、現在、自己負担率が約35～36%となっている。当初3割程度を見据えた中での改定であったが、負担率が上がっている傾向にあるため、見直しをする準備をしようと考えている。また、町外病院の行き先を増やして欲しいという声も上がっているため、ヒアリングも含めて、事務局でどういう形が良いのか検討を開始したい。料金については、均一の料金体系が良いのかも含め検討したい。

会長：ボランティア送迎と双方に補完し合う方法も検討を。

委員：かわみんタクシーの料金について、利用者からの苦情はドライバーや会社に入っているのか。

委員：料金改定後、改定を理由に利用しないようにしているという声も聞いたことがある。また、昨年11月に埼玉県のタクシー料金の値上げがあり、例えば町外病院で、今までは2,000円で行けた距離が、3,000円かかってしまうケースが発生している。ドライバーに説明させたり、タクシー車内にチラシを掲示するなどしているが、ご理解いただくのに苦慮した。

委員：タクシーの料金改定に合わせて、かわみんタクシーの料金改定も議論すべきだったと感じた。

委員：令和6年度の取り組みに「通学利用者のための支援策の検討」が入っていない。継続して実施するものだと思うので、追記した方が良いのでは。

事務局：追記修正する。

(6) その他

事務局：現在の任期は今年度末で終了となるが、来年度も引き続きお願いしたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

5 閉 会

署 名	谷 龍 亭
	中 山 俊 夫

